

2020年度
明晴学園の教育活動などに関するアンケート結果
(回答率:97%)

【対象】幼稚部から中学部までの63名

※同じ学部には兄弟がいる場合は総合的に評価

【調査期間】2021年1月

【評価内容】24項目(教育活動4・学校生活8・
子どもの様子8・コロナ関係4)

【評価方法】4段階評価

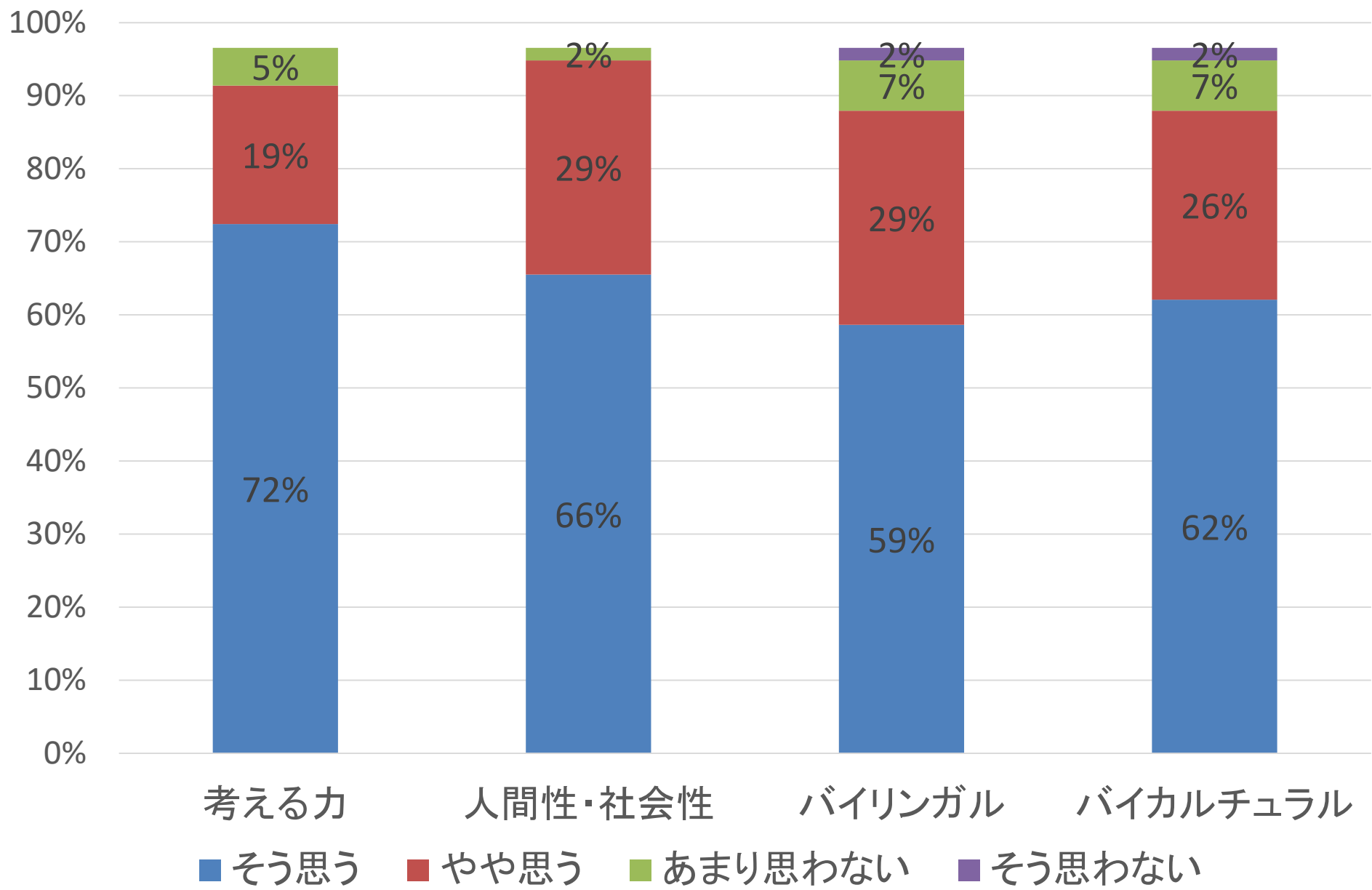
(そう思う・やや思う・

あまり思わない・そう思わない)

項目別の集計結果

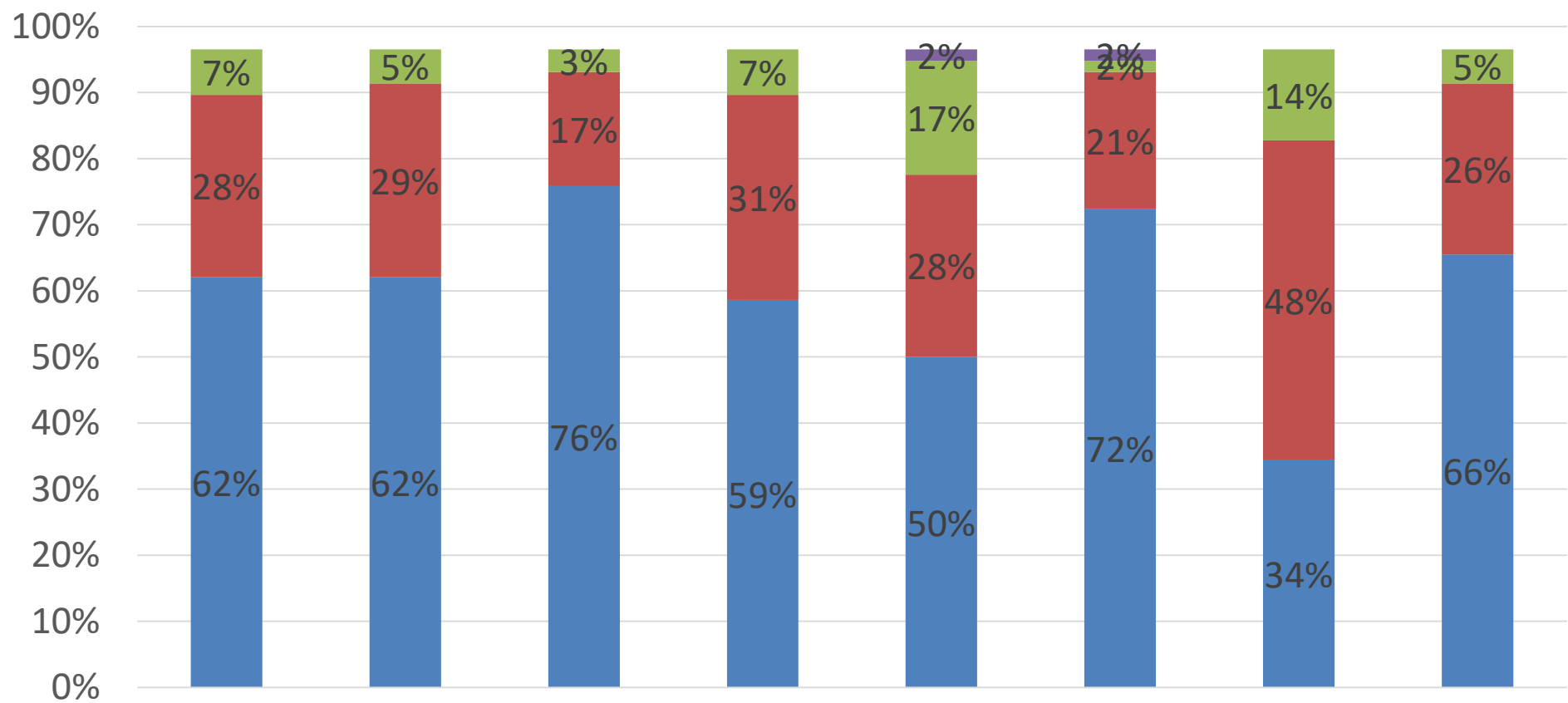
教育活動(教育目標)について

- ① 学校は教育活動全般において、
子どもの「自ら学び、自ら考える力」を適切に伸ばしている。
- ② 学校は友達関係や多様な交流を通して、
子どもの「人間性・社会性」を適切に伸ばしている。
- ③ 学校はバイリンガルろう教育の学校として、
子どもの「手話」と「日本語」の力を適切に伸ばしている。
- ④ 学校はろう文化や聴文化のバイカルチュラルを通して、
異文化尊重の態度や「自分に自信をもって社会を生き抜く力」
を適切に育てている。



学校生活について

- ① 学校は子どもが分かりやすい授業に努めている。
- ② 学校と子どものコミュニケーションがよくとれている。
- ③ 学校は子どもが主体となった活動を大切にしている。
- ④ 学校は子どもに応じた生活面の指導を適切に行っている。
- ⑤ 学校は子どもの様々な相談に乗ってくれている。
- ⑥ 学校は災害時に備えて、防災などを適切に指導している。
- ⑦ 学校と保護者との連絡や意思疎通は十分に行われている。
- ⑧ 学校は保護者が日本手話やバイバイろう教育などについて学ぶ機会を設けている。



分かりやすい授業

子どもとのコミ

主体的な活動

生活指導

子どもとの相談

防災教育

親との意思疎通

親の勉強会

■ そう思う

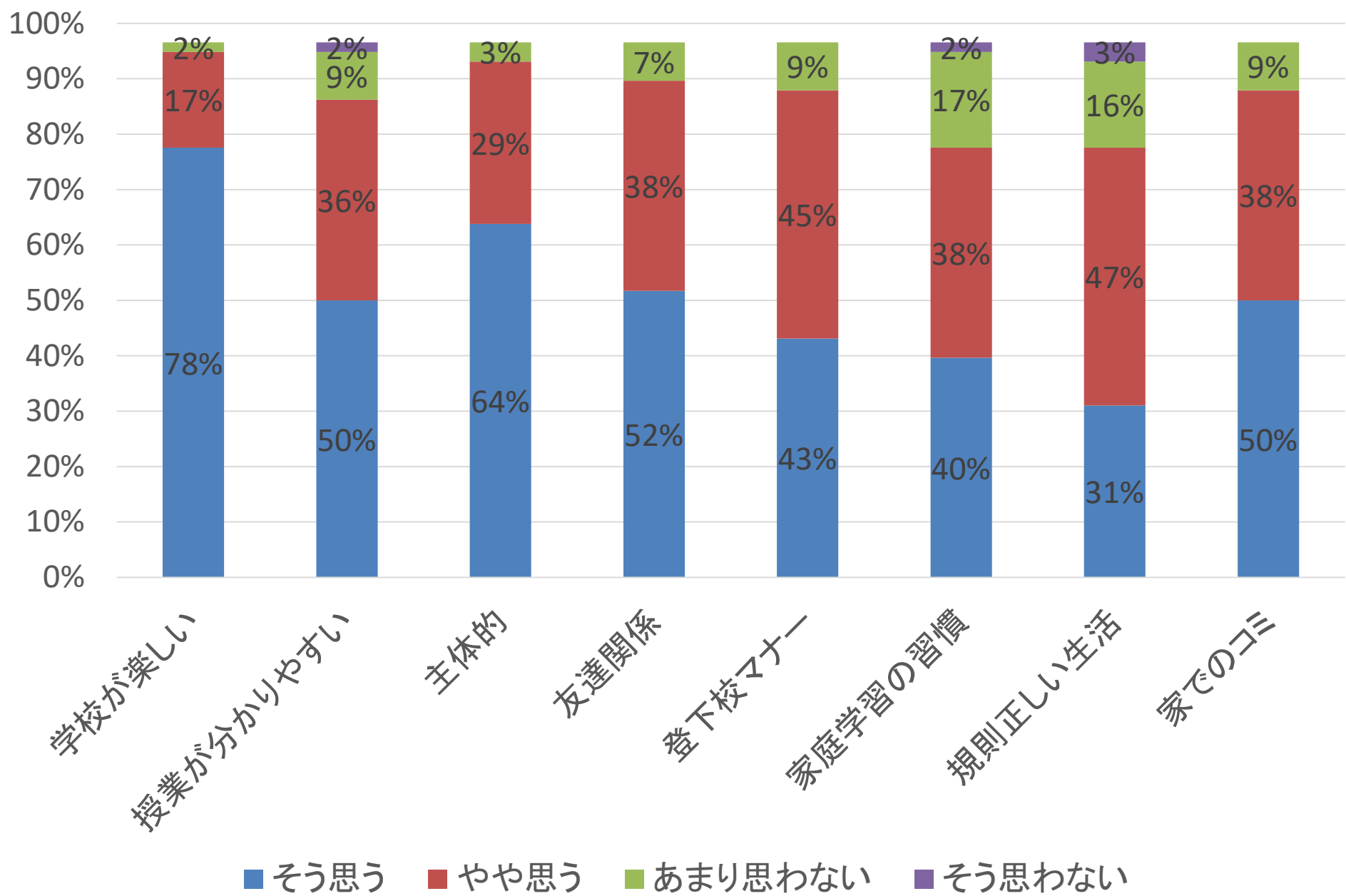
■ やや思う

■ あまり思わない

■ そう思わない

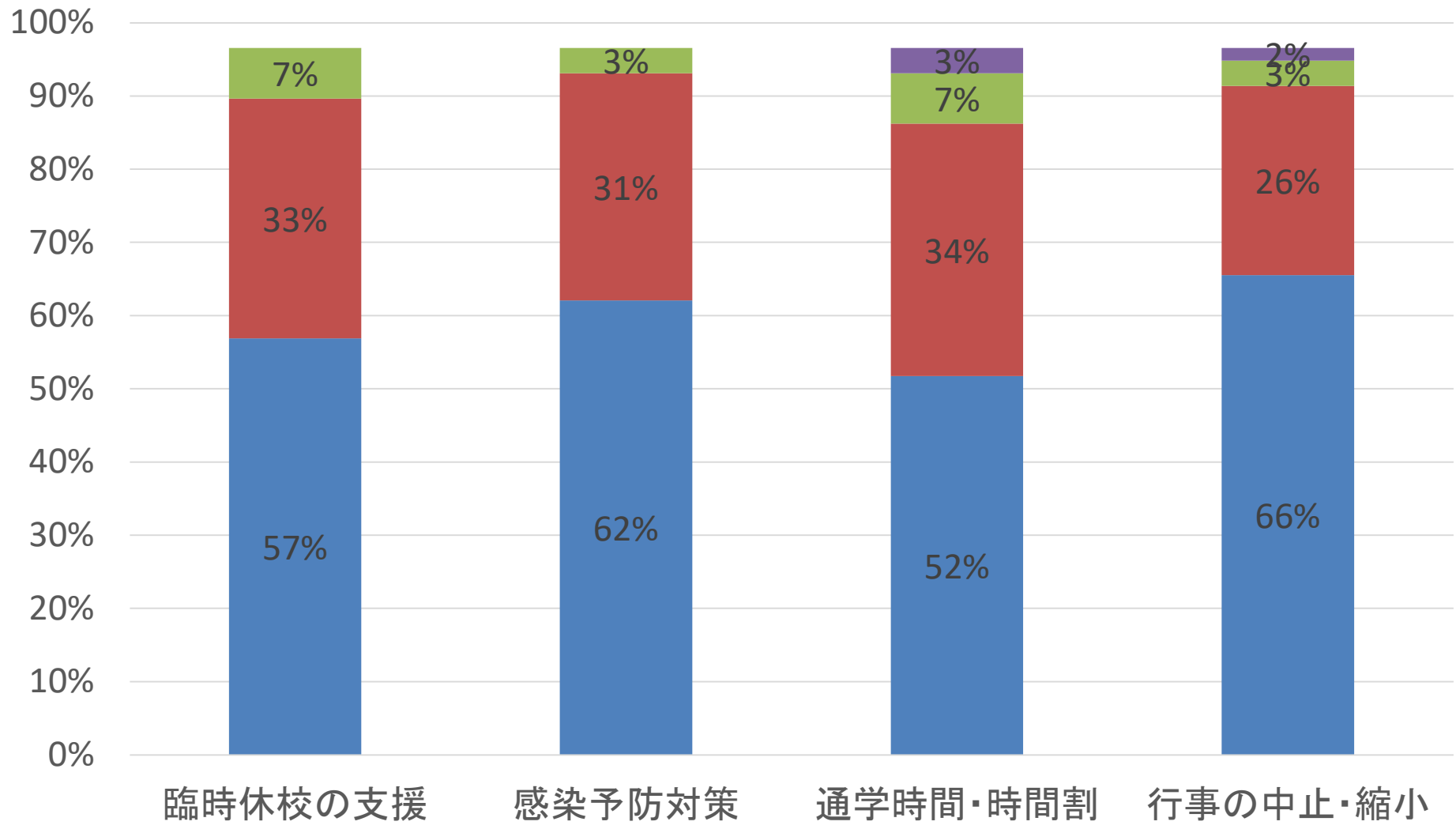
子どもの様子について

- ① 子どもは学校生活を楽しんでいる。
- ② 子どもは授業が分かりやすいと言っている。
- ③ 子どもは主体的に授業や行事に参加している。
- ④ 子どもの友達関係は良好である。
- ⑤ 子どもは登下校時の交通ルールやマナーを守っている。
- ⑥ 子どもは家庭学習(宿題や自習など)の習慣が身についている。
- ⑦ 子どもは家庭で規則正しい生活を送っている。
- ⑧ 家庭では子どもとよくコミュニケーションしている。



新型コロナウイルスについて

- ① 4～5月の臨時休校のときに行った教育支援
(教材の郵送、動画配信、オンライン校など)は適切である。
- ② 学校再開後の新型コロナウイルス感染予防対策は適切である。
- ③ 通学時間や時間割の設定は適切である。
- ④ 学校行事の中止や縮小は適切である。



■ そう思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ そう思わない

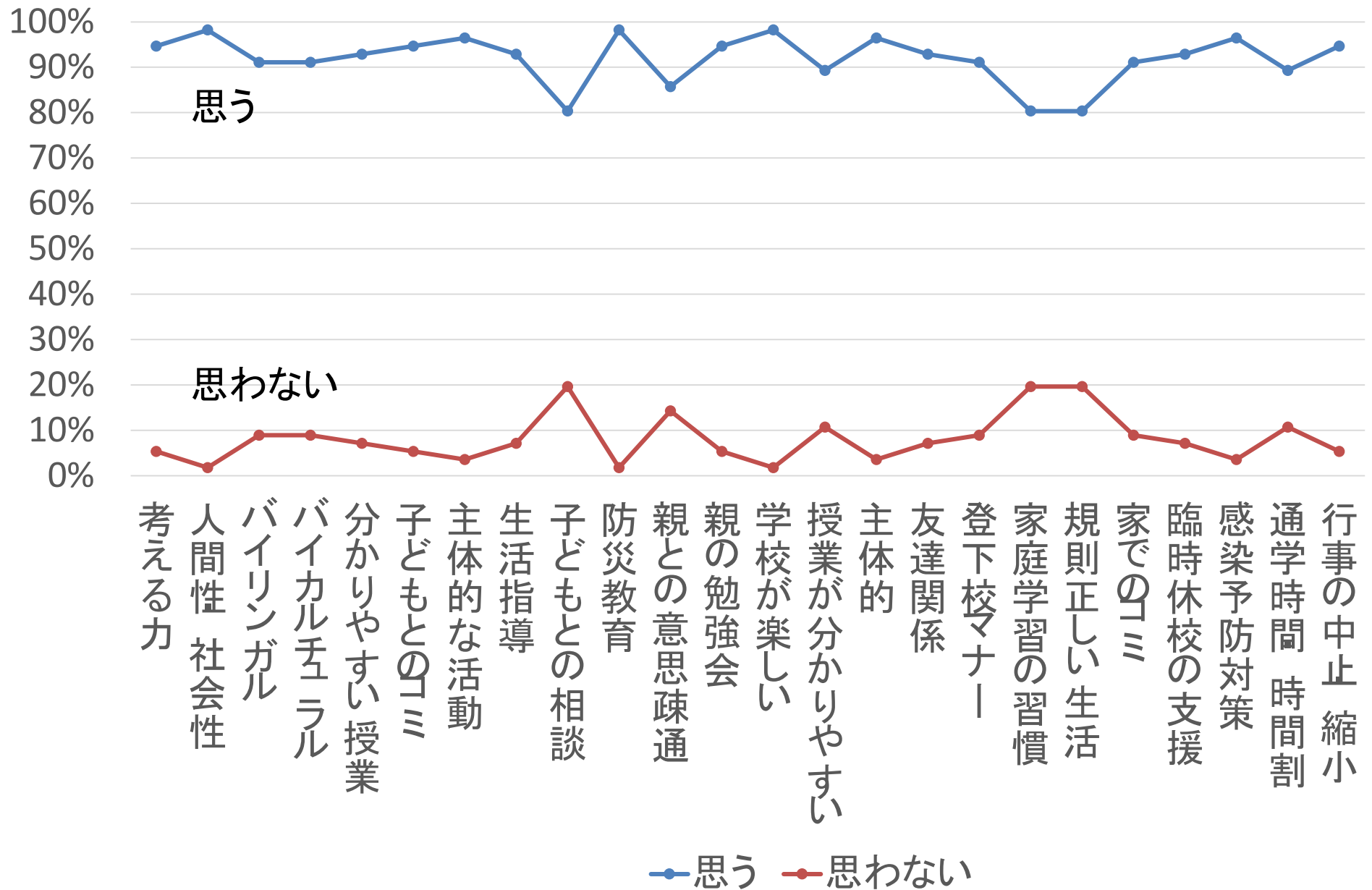
全体・学部別の集計結果 昨年度との比較

「そう思う・やや思う」→「思う」

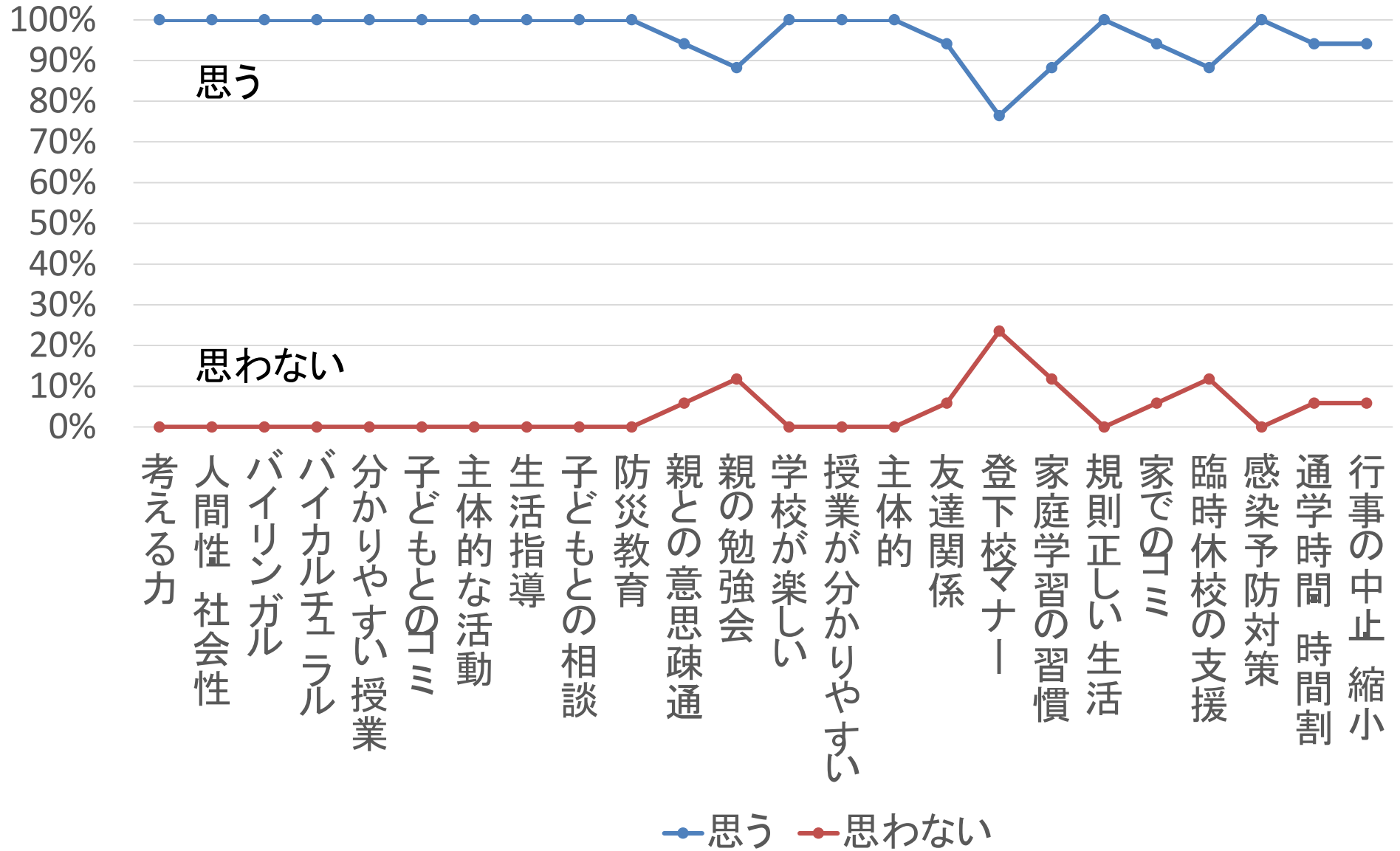
「あまり思わない・そう思わない」→「思わない」

にまとめ、3%の無回答は省略して集計

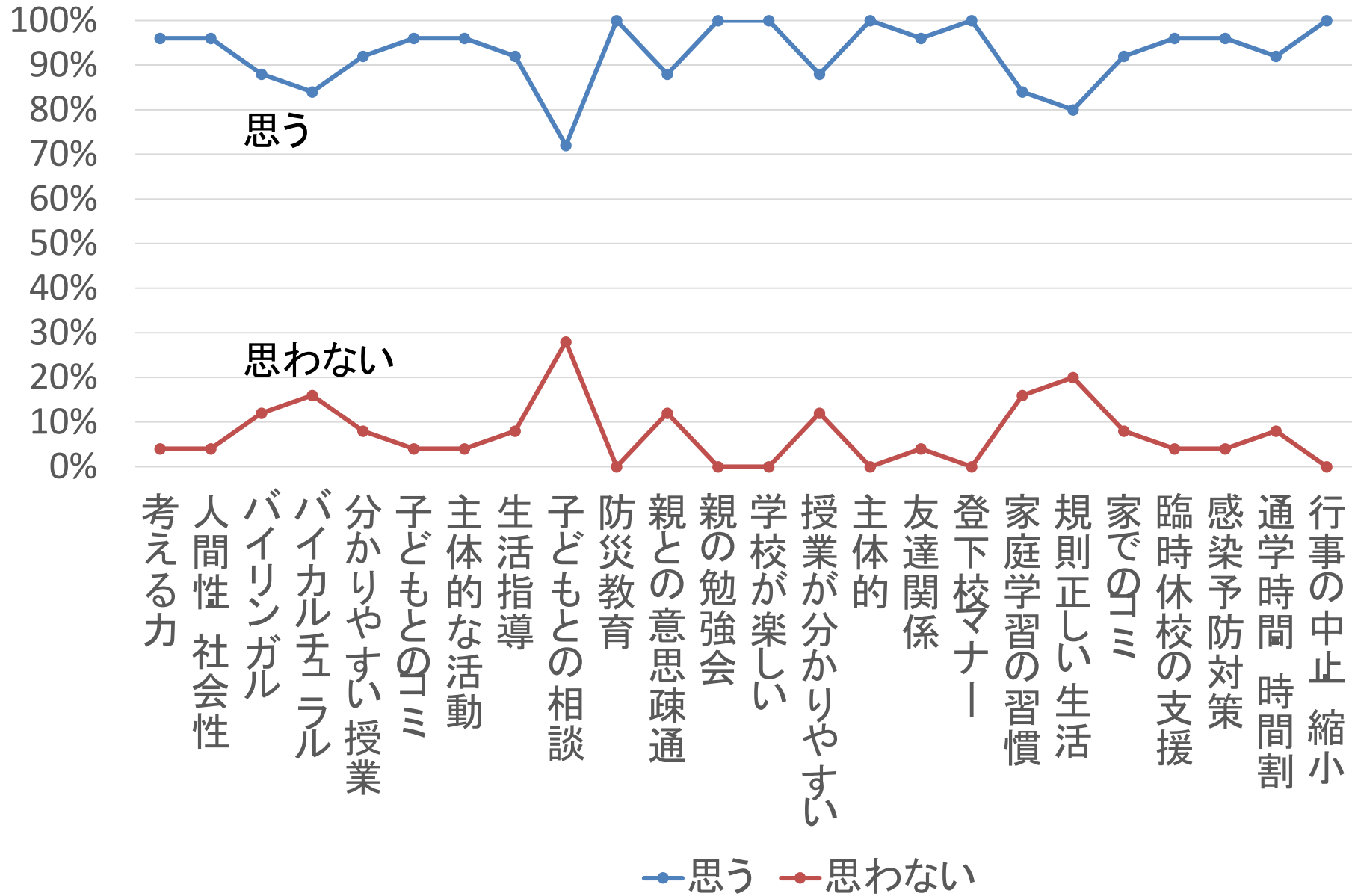
全学部



幼稚部



小学部



中学部

